

## 働き方改革に向けた愛媛労働局長による企業トップ訪問

平成 29 年 8 月 22 日、濱本和孝愛媛労働局長は、佐川印刷株式会社代表取締役 佐川正純氏を訪問し、働き方改革、生産性向上の取組についてお話を伺いました。

### 働き方改革・生産性向上の取組について

印刷、広告事業、Web・動画事業等を行う同社では、発注者側の意向が強く、働き方改革が難しい業界ですが、佐川社長は、長年 IoT に取り組み、受注した仕事の「見える化」、作業の効率化に取り組んでいます。

請負った仕事の作業時間により、ベスト、ワースト 10 を選び、その要因を分析するために「付加価値向上委員会」を設け、働き方の見直し、無駄の削減、設備投資の必要性の判断等を行っています。また、よい取組の表彰も行っています。



それら取組の実践は現場の管理職に任せ、佐川社長自身は「なぜこのような取組をするか」「これは皆が幸せになるための取組である」ということを常に発信しています。特にベテラン社員に対しては、仕事を聖域化せず、機械ではなく「人にしかできない仕事」へとシフトしてもらうよう意識づけをしています。

また、佐川社長は、「早くから女性を育ててきたつもりであるが、退職してしまう、ロールモデルがない、長く働いて管理職になるイメージがつかめない、などの声もあった。以前は就業規則、ルールにのっとり平等に行うことがよいことと思っていたが、本人の事情に合わせることを第一に考えるよう発想の転換をした。一人一人の悩みを解消していくことが多様な働き方につながった」と、在宅勤務や正社員からパート、パートから正社員といった雇用形態の変更を容易にするなど、従業員一人一人の事情や意向を聞き取りながら、それぞれが働き続けられるような環境、風土づくりに努められており、「最初からルールを持ち出し、ダメ出しするのではなく、まずは認めて後付けでルールを作るようなやり方をしている。」ということでした。

### 今後の取組に向けて

濱本局長からは、「多様な従業員の意見を聞いて多様な働き方を認めておられるが、そこがなかなか踏み出せない企業も多い。今後も、高齢者も女性もダイバーシティという働き方の多様性の中で、引き続き対応をお願いしたい。」と要請しました。

これに対し、佐川社長は、付加価値の高いオンリーワンの会社を目指し、競争力、所得の向上につながるよう頑張りたい。そのことが働き方改革にもつながり、企業としての本来の強さにもつながるのではないかと思うとの発言がありました。



### 佐川印刷株式会社

本社所在地 松山市問屋町 6 番 21 号

事業概要 印刷事業、広告事業、Web・動画事業、屋内広告事業  
地域活性化事業

従業員数 84 名